

## 宮崎市洪水ハザードマップ改訂の概要について

## 1. 改訂の理由

近年、全国各地で豪雨災害による被害が多発する中、平成 27 年 5 月に水防法が改正され、洪水浸水想定区域図の前提となる降雨規模が「想定しうる最大規模」に変更されました。

その後、河川管理者である国（H28.8 月）及び県（H31.3 月）において、それぞれ洪水浸水想定区域の見直しが行われたため、令和 2 年度に本市の洪水ハザードマップ（以下、「ハザードマップ」という。）の改訂を行うこととなりました。

## 2. 種類

- 1) A4 版冊子ハザードマップ（以下、市内 6 区域）
  - ①中心部・北部域：136,000 部
  - ②南部域：60,000 部
  - ③佐土原町域：19,000 部
  - ④田野町域：7,000 部
  - ⑤高岡町域：7,000 部
  - ⑥清武町域：16,000 部
- 2) A2 版ハザードマップ（市内全域）：245,000 部
- 3) A0 版ハザードマップ（市内全域）：3,000 部
- 4) 多言語版ハザードマップ（市内 6 区域）



## 3. 改訂に伴う主な変更点

- 1) A4 版冊子ハザードマップ及び A2 版ハザードマップ（全戸配付用）
  - ・これまでの折りたたみ式 A0 版から A4 冊子版に変更し、地図面の縮尺を大きくするなど、お住いの地域がより分かりやすくなりました。
  - ・各家庭で掲示できるように市内全域を示した A2 版を作成し、A4 冊子と併せて配付します。
  - ・ハザードマップの使い方やマイタイムラインなど、防災・災害への準備を目的とした内容のページを充実させました。
- 2) A0 版ハザードマップ
  - ・主に公共施設や自治公民館、事業所等の掲示用として、市内全域を示した A0 版のハザードマップを作成しました。
- 3) 多言語版ハザードマップ
  - ・令和 3 年 4 月から市のホームページ上に、日本語（やさしい日本語含む）・中国語・ベトナム語・韓国語・ネパール語・英語版のハザードマップを掲載します。

## 4. 配付方法

- 1) A4 版冊子ハザードマップ及び市内全域 A2 版は、令和 3 年 1 月 26 日より中心部・北部域から郵送を開始し、2 月末までに本市に住民票を有する全世帯（約 198,000 部）に配付します。なお、令和 3 年 3 月から市の各窓口でも配付を開始します。
- 2) A0 版ハザードマップについても、令和 3 年 3 月から市の各窓口で配付を開始します。

## 5. 総事業費

- ・約 48,400,000 円【作成：26,400,000 円 配付（単価契約）：約 22,000,000 円】

【問い合わせ】

危機管理部危機管理課

電話 21-1730